

第 2 学 年 音 楽 科 学 習 指 導 案

2 年 2 組 指 導 者 石 田 千 陽

題 材 跳 ん で 跳 ん で か え る の さ ん ぼ

1 本題材でめざす子どもの姿について

| 対象と向き合う子どもの姿【対】 | 自己と向き合う子どもの姿【自】 | 他者と向き合う子どもの姿【他】 |
|-----------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| ○表現に対する思いをもって、リズムを組み合わせている。 | ○表現に対する思いをもって、リズムを組み合わせる楽しさに気付いている。 | ○友達の表現の工夫に気付き、自分の表現に生かそうとしている。 |

2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、「かくれんぼ」の学習において、曲想を感じ取り、その曲想の根拠となる音楽の構造について考えてきた。このような子どもたちが、表現に対する思いをもって音楽の構造を選択し、曲想を生み出す学習に取り組む。このことは、曲想と音楽の構造との関わりに気付いたり、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わったりすることにつながるだろう。

本題材は、表現に対する思いをもって、リズムを組み合わせる学習である。「かえる」や「さんぼ」のように子どもたちの身の周りの事象を条件として取り上げることで、これまでの音楽経験に関係なく、表現に対する思いをもって、学習に取り組むことができるであろう。しかし、これまで子どもたちは主に曲想を視点に表現や鑑賞の学習に取り組んできたため、表現に対する思いを音楽の構造を用いて表現することは難しい。

そこで、以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 子どもが考えたリズムや、音楽の構造を視覚化する。そうすることで、表現に対する思いに合ったリズムを見つけたり、組み合わせたりすることができるようにする。【対】
- 音楽の構造を用いて表現を工夫している子どもを紹介したり、価値付けたりする。そうすることで、自分の表現に対する思いに合った表現の工夫に気付くことができるようにする。【他】
- 音楽の構造を視点に、つくったリズムを友達と伝え合う場を設定する。そうすることで、音楽の構造を用いて、自分の思いを表現する楽しさに気付くことができるようにする。【自】

3 本題材の目標

- リズムを組み合わせる活動をとおして、表現に対する思いに合った音楽の構造を用いることができるようにする。
- 曲想と音楽の構造との関わりに気付いたり、生活の中の音や音楽と豊かに関わったりすることができるようにする。

4 本題材における評価規準

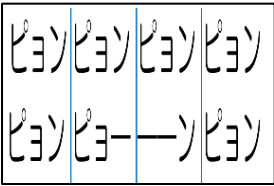

| 知識・技能（知） | 思考・判断・表現（思） | 主体的に取り組む態度（態） |
|--|-------------------------------|----------------------------|
| ○音楽の構造について知ったり、リズムを組み合わせたりすることができるようにする。 | ○表現に対する思いをもち、試行錯誤しながら取り組んでいる。 | ○リズムを組み合わせる活動に積極的に取り組んでいる。 |

5 指導計画（全3時間）

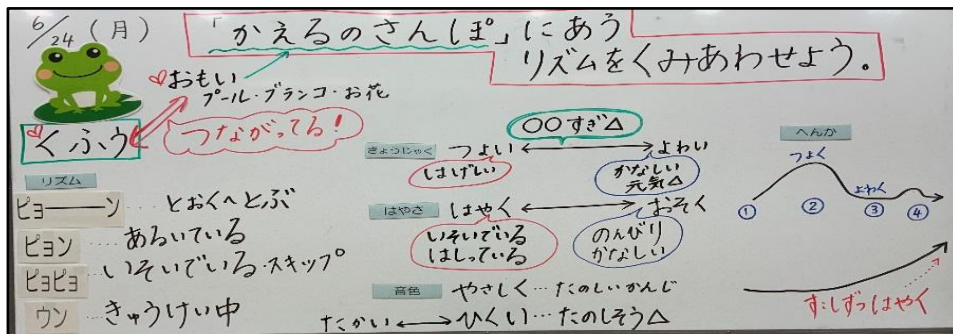
条件に合ったリズムを組み合わせる【本時3／3】

6 本時案 【令和元年6月24日 13:40~14:25 音楽室】

- (1) ねらい 「かえるのさんぽ」の条件に沿ったリズムを組み合わせることをとおして、表現に対する思いに合った音楽の構造を用いることができるようにする。
- (2) 学習過程 ※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識

| 学習活動・学習内容 | 子どもの意識 | ○教師の支援 |
|--|---|---|
| <p>1 リズムを確認する。(10分)</p> <p>・リズムの特徴</p>  | <p>・今日は、自分が考えたお話の流れに沿って、リズムを選んでいくのだね。</p> <p>・先生がたくさんあったリズムを8個に絞ってくれたよ。これなら選べるぞ。</p> <p>・2拍のばすリズムは、思いっきりジャンプして、川まで跳んでいきそうだね。</p> <p>A <u>みんなが考えたリズムを組み合わせると、すてきなさんぽになりそうだよ。【対】</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>思いに合ったリズムを組み合わせよう。</p> </div> | <p>○子どもが考えたリズムを分類・整理したものを提示する。そうすることで、表現に対する思いに合ったリズムを選択し、組み合わせることができるようにする。</p> <p>【対】</p> |
| <p>2 「かえるのさんぽ」に合う、リズムを組み合わせる。(30分)</p> <p>・表現に対する思い</p> <p>・表現に対する思いと音楽の構造との関わり</p> | <p>・楽しいさんぽにしたいから、ピョンピョン跳んでいるリズムを選んだよ。</p> <p>A 音が小さくて、楽しそうに感じないな。どうしたら、楽しそうに聴こえるのかな。</p> <p>・あれ、Bくんのさんぽはすごく楽しそうな感じに聴こえるよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうして楽しそうに聴こえたのか</p>  </div> <p>・音をだんだん強くしているね。</p> <p>・音の強さを工夫すれば、もっと思いが伝わるのかもしれないね。</p> <p>A <u>Bさんの工夫をまねしてみたら、自分が表現したい音楽ができたよ。【他】</u></p> <p>B もっと楽しいさんぽにするには、他にはどんな工夫ができるのかな。みんなのリズムを聴いてみたいな。</p> <p>・自分の思いが友達に伝わると、とっても嬉しいね。</p> <p>A <u>Bさんみたいにリズムを組み合わせると、いろいろな音楽ができて、とても楽しいね。また、音楽づくりをやってみたいな。【自】</u></p> | <p>○音楽の構造に着目し、自分の表現に対する思いに合った表現をしている子どもを紹介する。そうすることで、自分の表現に対する思いに合った表現の工夫をすることができるようにする。【他】</p> |
| <p>3 学習を振り返る。(5分)</p> <p>・音楽をつくる楽しさ</p> | | <p>○音楽の構造を視点に、つくった「かえるのさんぽ」を伝え合う場を設定することで、表現に対する思いをもって音楽をつくる楽しさを気付くことができるようにする。【自】</p> |

(3) 板書計画



6/24 (月) 「かえるのさんぽ」にあうリズムをくみあわせよう。

おもい フール・ブランコ・お花

くふう つながってる!

リズム

ピョー とおくへとぶ

ピョん あらっている

ピョピョ いそいでいる・スキップ

ワン きょうけい中

00すぎ△

よわい かなしい 元気△

おそく のんがり かなしい

はげしい

はやさ はやく

いそいでいる はしっている

音色 やさしく... たのしいかんじ

たのしい ← へんか

すしずくはやく

① ② ③ ④